

## 第2学年 総合カリキュラム I 総合的な学習実践報告

学年担当 田口 関根 寺本 鈴木 小宮 初谷 山梨 佐藤

### はじめに

1年次には、本校の総合 I（学年総合）は、自分たちが生きていく社会のニーズと自分たちの興味・関心に応じたテーマをみつけ、人や社会と関わり、創造的に未来を生きていく力を身につける生徒を育成することである。

「共生（多文化共生）」をキーワードに、学年の目標や生徒の実態、生徒の希望を生かしながらテーマを設定しており、生徒の具体的な活動は、生徒実行委員（総合学習係）が中心となり、生徒主体型の「総合的な学習」をすすめてきた。

1年生の学年づくりにあたり、担任では、「基」を学年目標としてあげた。これは、1年生ではまず「仲間と関わり合いや学校生活」の基本を押さえることが大切であると考えたからである。実際に入學してきた生徒をみると、自分のまわりにいる仲間と考えを深めたり、共に高め合うことが不得意な生徒が多い。学校外の方々と交流を持つ機会を増やしたり、普段聞くことのできない色々なお話を聞くことができたりする中で、知識を智慧にかえることができるのであろうと考えた。

また、1年の総合的な学習の時間は、子ども発達教育研究センター「総合的な学習の時間調査研究会」（「総合的な学習の時間」の充実に係わる教師参考教材の開発等に関する委嘱事業）（酒井先生・宗我部先生・宮本先生・井上先生）にアドバイスを頂きながら進めてきた。

2 学生の総合的な学習のねらいは以下である。

1. 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
2. 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に、主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。
3. 各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること。

## 1. 総合 I (総合的な学習) のねらい

### (1) ねらい

#### ① 生徒の現状

他人との豊かな関係を築くのが苦手。自己中心的な態度。

この現状から 1 年次は「仲間と今まで以上に仲良くなる」ことを目標とした。

#### ② 1 年生の成果と課題

上記の目標を達成できた部分もあったが、共生は相変わらず欠如。外部の方との接し方も課題。調べ学習からの脱却。

それを踏まえて、達成感、充実感を味わえるような活動、1 年生の目標に関連しつつ、より大きなテーマを設定したい。ただし、現実離れしたことはしない。

#### ③ 目 標

昨年度の学習を通して表れた課題から、2 年次の総合 I においては、これらの課題をどのように克服するか、という点に焦点を絞って目標を設定することとした。すなわち、実際に社会に参加することによって、社会を構成する一人の市民としての責任を育成するとともに、生徒の公共心・公德心を涵養することである。またそれは、「社会に参加する力＝生きる力」と換言できよう。この力の育成のため、1 年次のものを継承・発展させた総合 I のプログラムを計画した。

#### ④ 方 法

生徒一人一人に公のことを考えさせ、責任ある市民としての自覚を持たせるために、担任団は「参加」という概念を基本に据えて、実践化を図った。すなわち、昨年度の調べ学習→発表という流れに終始した段階からさらにステップアップさせ、実際に生徒に学校の周辺の地域に影響を与えることを目標とした活動を企画・立案をさせ、実際に行動させることを考えたのである。また、ただ活動させるだけではなく、公の場での発表や評価など、成果が見える形で進め、その体験から何を学ぶことができるか、という学習過程の設定も強く意識することとした。

本校の生徒の多くは学校所在地の文京区以外から通学している。そのため、地域への意識は薄く、同心円状に広がる思考の範囲が、自分や学校中心からなかなか脱することができない傾向にある。したがって「公のこと」と言われても、学校に留まっている限り意識させるのは難しい。そこで学校周辺の地域を学習のフィールドとすることで、生徒自身も地域の住民の一人であることを自覚させるとともに、地域の問題解決という公的な事柄への参加を通して、生徒に社会的な責任を与え、公共性を養わせることを目指すこととした。

一方で、活動の規模を大きくするためには、総合 I 自体に対する生徒の積極的な「参加」も欠かせない。担任団の願いを生徒が共有できなければ、ただの理想で終わってしまう。生徒の参加を促す上で重要な役割を果たすのは、学習を支えるリーダーの存在である。昨年度は各クラス 2 名の評議員を実行委員として教師側が一方的に指名したために、学年全

員が高いモチベーションを保っていたとは言いがたい面があった。そこで、今年はクラスの区別なく希望者を募り、その全ての生徒を実行委員とすることとした。この呼びかけに対し、結果として40名もの生徒が立候補してくれたことは、生徒の「参加」を保障する上で最高のスタートとなったと言える。

この新実行委員達との話し合いを通して生徒と担任団の願いを互いにぶつけ合う中、総合 I の目標は「愛」、活動名は「住みよいまち作りプロジェクト」と決まった。目標については、自分→仲間→世界と「愛」を広げていくことを志向し、活動名については、「愛」を拡大する上で、まず地域への貢献を掲げたいという生徒の願いから導き出されたものである。このテーマに基づいて今年度の総合 I は始まった。

#### ⑤ 方法を支える理論

地域社会への参加を通して公共心や公德心などの市民的資質を獲得する学習方法は、サービス・ラーニングと呼ばれ、1990年代以降アメリカの社会科教育で盛んに議論され始め、日本でも近年実践例が見られるようになってきた。

サービス・ラーニングとは、「充分考えられて組織された地域社会での体験活動（サービス活動）への積極的な参加を通して、若者が学習し、発達することを意図した学習法」である。地域社会の政治や行政等における課題（問題・紛争）を、まず子ども達が明確にし、その問題の発生の地域的背景や原因を共同で調査することを通じて、よりよい地域社会の実現に役立つと思われる解決策や代替案を地域住民に対して発信し、地域社会の政治に模範的あるいは実際的に参加することで、より自由で民主的な社会を担う市民として育ていくことが目指されている。

サービス・ラーニングに必要な不可欠な要素として、次の三つが挙げられる。すなわち、サービスが学校あるいは地域社会のニーズに焦点付けられていること、サービス活動が学問的な技能や内容と統合されていること、サービス経験を振り返る時間が設定されていることである。一つ目は地域を題材にする際に、住民達が関心を持ち、解決を願っている問題を取り扱っているか、二つ目は単に活動ありきの参加ではなく、カリキュラムに統合され、かつ参加を通して何を学ばせるかという観点が意識されているか、三つ目は活動後に振り返る時間を確保し、学習に結び付けられているか、といった点が達成されることで学習経験が豊かになると言える。

ロジャー・ハートは『子どもの参画』（2000年）の中で、子どもの参画を8つの段階に分類している。すなわち、①操り参加、②お飾り参加、③形だけの参加、④与えられた役割の内容を認識した上での参加、⑤大人主導で子どもの意見提供のある参加、⑥大人主導で意思決定に子どもも参加、⑦子ども主導の活動、⑧子ども主導の活動に大人も巻き込む、である。担任団としては全ての生徒が少なくとも4番目の段階まで上がってくれることを願っている。そのためどのような方針を持って2年次の総合 I に臨んだか、サービス・ラーニングで重要視される「ニーズ」、「統合」、「振り返り（リフレクション）」の3つの

要素を組み込みながら考案した、おおよその構成を次項で示したい。

(2) 基本方針（今までのまとめ）

以上のことから、次のような基本方針を掲げ、担任団の共通理解のもと、実行委員と共に総合Ⅰ「住みよいまち作りプロジェクト」を進めることとした。

- ① think globally, act locallyの精神で。
- ② プロジェクト型、社会参加型の学習。
- ③ 学習内容と方法を今までよりも意識する。
- ④ 学校や地域に貢献できる活動である。
- ⑤ 活動の範囲を校外に広げる。地域が教育の場。
- ⑥ 地域との連携をできる限り深める。
- ⑦ 成果を外部（地域）の方にも評価してもらうことを前提とした活動である。
- ⑧ 単発的な体験に留めず、振り返り（リフレクション）を繰り返しながら学習を深める。
- ⑨ 学校外と校内、いずれも公のことであるという認識を強く持たせる。
- ⑩ 活動を通して学ばせるという視点を強調する。

2. 総合的な学習（総合Ⅰ）の実施計画

(1) 日程概略

- ① 第一回目（学年会合） 実行委員の紹介  
総合テーマの発表（今後の進め方について具体的な計画）
- ② 第二回目以降の大まかな内容・展開
  - a. コミュニティの中の政策問題を明らかにする
    - ・地域の観察，地図作り，聞き取り調査，地域新聞の記事，区（市）議会議事録などを通して
  - b. クラス（グループ）で研究するための問題を選ぶ
    - ・議論方法についての学習
  - c. 問題についての情報・解決策を調べる
    - ・関係機関・関係者への訪問（区役所・区議会議員・NPO団体・商工会議所・町内会・大学・弁護士・警察・消防署など）
    - ・関係者の講演
    - ・紛争解決（合意形成）の学習
  - d. 自分達の政策を作る
    - ・区や町が採用するべきだと思う政策を作る。
  - e. 行動計画を立てる
    - ・区や関係諸機関が受け入れられるためにはどのようにしたらよいかを示した行動計画を立てる。

f. 計画を発表する

g. 自分達が立てた政策を評価してもらう

コミュニティの人達や保護者を招き、政策として妥当かどうか評価してもらう（生徒祭などの機会をとらえて）。

h. リフレクション（省察，振り返り）

(2) 詳細

日時	主な実施内容
10/6	学年会で今年度の総合学習についての学習指導案提示
10/13	<p>第1回総合学習実行委員会12:45～社会科教室</p> <p>総合学習実行委員立候補者説明会</p> <p>① 昨年度の活動の思い出し</p> <p>② 今年度の取り組みと心構え</p> <p>③ 今年度の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月13日（木）お弁当持参 当日不参加者は、立候補を取りやめたとみなす。</li> <li>・少人数で執行部を構成する。</li> <li>・代表（1名）・副代表（1名）＋各部門の長が執行部に入る。</li> <li>・部門の内容は、動き出してから決定してもよい。</li> <li>・執行部会・部門会は頻繁に。全体会は週一回程度。</li> <li>・実行委員としての自覚を持たせる。責任感・使命感のある態度をあらゆる場面で。</li> </ul>
10/17	第2回総合学習実行委員会15:45～ 合併室
10/18	・組織作りについて打ち合わせ
10/19	☆決定事項
10/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスから代表者を2名ずつ選出</li> <li>・計8名で執行部を結成</li> <li>・その8名の中から代表者・副代表者・書記・広報を選出</li> <li>・残りのメンバーを4つのグループ（7名～10名，男女関係なし，希望制）に分ける</li> <li>→話し合いがしやすい人数として7名～10名が適当という判断</li> <li>・執行部の8名は4グループそれぞれのグループ代表・副代表となる</li> <li>・グループ代表・副代表とは別に各グループで書記を1名決める</li> <li>・グループ代表・副代表は違う組同士のペアとする</li> <li>・執行部で話し合った内容はグループ代表・副代表を通じて各グループで審議される</li> <li>・グループ代表・副代表以外の生徒も必ず何らかの係を受け持つ</li> </ul>

10/26 第三回総合学習実行委員会

- ・組織作り代表者より新組織についての発表
  - ・承認されれば執行部の選出を行う
- 生徒原案

2年総合学習について

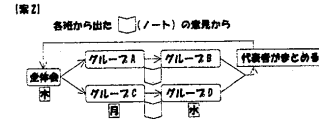
10/26の会議で、組織作りの案を発表しました。その考え方についてまとめてみました。



- ★各クラスから2人ずつ代表者を出し、その代表者を筆頭とした4つのグループ(1グループ10人程度)に分ける。
  - ★1つの議題についてそのグループ内で話し合い、代表者がグループで出た案を執行部に持ち帰って話し合う。
- というものでした。
- しかし、この組織の組織図に、「**重役がある人も参加できない**」というものがありました。そこで、もう一度検討してみたところ、次のような意見が出てきました。

ポイント ローテーション

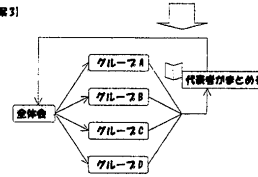
- 【ローテーションにした理由】
- ★**全員が参加できる**から。



- 【グループ】
- ★4つのグループを作り、その中で議題ごとに代表を1人決める。
- ★グループ会合の日に集まり、ノートにその会合で話し合った内容を記録する。
- ★グループ会合の司会は、代表者が行う。
- ★グループ会合は、原則として月曜日又は水曜日に行う。1週間に1度、ノートが回ってきたときに会合を行う。
- ★ノートの順番は、前の全体会で決める。
- ★グループの中で、広報部を2人出す。
- 【全体会】
- ★4つのグループで出た意見を元に、最終的に検討する。

発行者：本杉 総引 横 晴志田

- ★司会は、代表者が行う。
  - ★前の全体会で決めた議題についてのまとめをして、ノートを回す順番と、次の議題を決める。
  - ★全体会は、原則として木曜日に行う。
  - 【広報部】
  - ★実行委員会で決まったことを、学年に報告する。
  - 【学年委員会】
  - ★学年委員会の会合は、前の全体会の会合をしたグループが行う。
- これでは時間がかかるということで、まだまだ考え直してみたいところ、次のような意見も出てきました。



この案とは、【案2】のときと同じです。変わる点は、曜日が限定されていない点と、ノートを回す順番を全体会で決めなくていいという2点です。



代表者会議で出た意見は以上です。実行委員会で、いい総合学習になるように考えていきましょう♪

2005/10/28

## 展 開 I

### 1. 組織作り

#### H17年度 2年生後期総合学習

09/24/2005

寺本

#### 9月26日（月）朝の総合学習実行委員選出について

##### ◇確認事項

1. 実行委員は各クラス最低2名とする。希望者多数の場合は2人以上になっても可とする。何よりもやる気があることが第一条件。
2. どの係・委員会・役員と兼務してもかまわない。
3. 具体的な活動内容は教員・実行委員間で話し合っ決めて決めるが、活動の範囲を広げる（学校の外へ広げる）方向で考えたい。
4. 1年次の目標「仲間と今まで以上に仲良くなる」ことを土台に、それにさらに積み重ねた形を考えたい。
5. 学校も含めた地域の問題を改善していくような機会としたい。
6. 総合を通して、自分自身も学年全体も成長できるような機会をつくりたい。

〈決定した生徒へ〉

第一回会合は生徒祭後行うので、どんな活動をしたいか、自分なりのプランを考えておいてほしい（特に3～6をふまえて）。

##### ◇教員間の確認事項

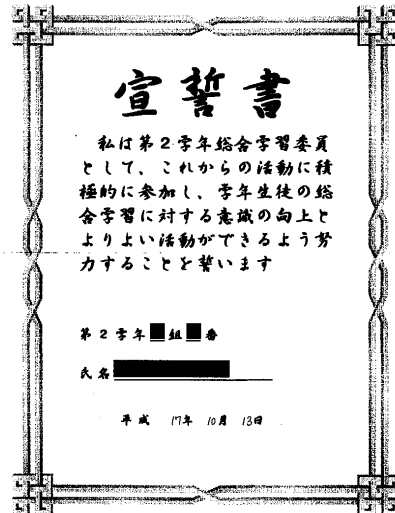
〈後期の総合学習の内容について〉

- ・学校やコミュニティに貢献できる活動であること。
- ・プロジェクト型、あるいは問題解決型の活動であること。
- ・活動の範囲を校外に広げること。コミュニティが教育の場。
- ・地域との連携をできる限り深めること。
- ・成果を外部（地域）の方にも評価してもらうことを前提とした活動であること。

以 上

9月26日に立候補した総合学習実行委員				
	松	蘭	菊	梅
1	K. U	K. H	N. Y	A. A
2	T. K	N. R	S. Y	E. H
3	A. M	A. S	S. K	K. H
4	E. S	I. A	S. M	K. K
5	O. Y	E. Y	W. Y	S. M
6	K. Y	O. C		N. M
7	K. M	O. M		
8	S. R	S. K		
9	S. S	S. K		
10	T. A	T. M		
11	Y. N	H. M		
12		M. S		
13		M. R		
14		M. K		
15		M. R		
16		M. M		
17		Y. H		
18		Y. Y		
	11	18	5	6

計40名 以上



1. 1年生の総合学習の反省点を思い浮かぶ限り書きなさい。

①身に付いたと思うこと  
 ・前年して何処を修正したこと  
 ・楽しかった学習をすること  
 ・日本を一つわくもはずし、世界1国を訪問したこと  
 ・身のこころ、小さなことか大切だということ  
 ②もう少し努力しなければならぬこと  
 ・自分の意思をしっかり持つこと  
 ・眼界をより、無理のない計画を立てること  
 ・相手にもっとよく意見を行動すること  
 ・本物の意味での自己表現をしようとして、人々が感謝すること

2. 2年生の総合学習で行いたい内容

①身に付いた力は何か。一番面白かったのは何か。  
 ・学びの意味での自己表現。  
 ・自分と違う人を理解する(世界の文化、歴史等)  
 ・人間としてのマナー、エチケット等  
 ②身に付いた力を付けるためにはどんな事を行うことで実現できますか。  
 ・校外学習  
 ・世界文化を学ぶ、昨年度のおしゃべり大会等。  
 ・1人1人感謝状を渡すこと等

3. 先生に一言 何でも良いです。総合に絡んで思うことを自由に書いてください。

昨年度の総合学習は、英語委員の先生が中心で進んで行い、気がついては  
 何をやってもらった、何を学んだのか分からなくなりました。今回は、各担当は、  
 学年学習を取り組む総合学習の形以外、実行委員が球技大会やおしゃべり大会  
 し意見を聞いたら、総合学習の形以外、実行委員が球技大会やおしゃべり大会  
 全員が参加し、総学習の形以外、実行委員が球技大会やおしゃべり大会



## 展開 II

## 1. 活動内容一覧

以下、活動内容の一覧を示す。

自然保護	I班	緑の募金 大塚警察 国土緑化推進機構
	O班	募金活動 茗荷谷駅 東京緑化推進委員会
	K班	緑の募金活動 文京区役所 茗荷谷駅
	N班	文京区役所屋上で花壇（草花）手入れ手伝い
	M班	タンポポの生息状況調査 お茶大キャンパス 大塚公園 春日通り
環境美化	I班	映画館の清掃活動 早稲田松竹（*）
	K班	池袋ゴミ拾い 歩きタバコ禁止への呼びかけ 豊島区役所エコライフ課
	S班	播磨坂清掃活動
	N班	大学キャンパスの清掃
	M班	護国寺駅周辺の清掃と放置自転車並べ（*）
災害防災	O班	大地震に備えた災害マップ作り
	M班	避難生活をより快適に過ごすために、災害時の公的な対応を調べる。 お茶大 区立第七中学 文京区役所 区内町内会
防犯	I班	池袋防犯マップ作り 大塚警察
	O班	茗荷谷周辺の防犯マップを作る
	T班	大塚駅周辺の防犯マップを作る
	K班	学校から教育の森・茗荷谷駅周辺の防犯マップを作る
	M班	大塚警察で護身術を習得 大塚警察
	M班	防犯について
	Y班	子供の関わる犯罪について調査 大塚警察
	Y班	防犯マップを作り犯罪数を減らす
	Y班	防犯紙芝居を園児の前で上演 文京区水道保育園
マナー	H班	歩行喫煙禁止「ポイ捨てをなくそう」教育の森でティッシュ配り 文京区役所（資源環境課・緑公園課）
	W班	ゴミ問題の現状を知る 文京区清掃事務所
	A班	放置自転車撤去活動手伝い 豊島区役所
共生	S班	障害者への偏見をなくす 障害を持つ仲間が働ける社会を目指して
	S班	精神障害者復帰施設の活動支援 全国精神障害者家族連合会

## 2. 活動のまとめと中間発表会

### (1) 発表方法（グループ内発表）の準備

4月28日午後総合カリキュラムの中で、各グループを4クラスに分け、発表と発表の振り返りを行った。発表時間は約5分から7分（質問時間含む）、方法はパワーポイント・模造紙・OHPなどを有効に使用しながらの発表であった。その準備に使った内容は以下の通りである。

平成18年4月14日(金)

これまでの活動を見直そう  
(個人で書く)

1. 今回のプロジェクトを通して、自分が活動前と現在では、どう変わったか。

①変わらない。 ②少し変わった。 ③随分と変わった。(丸で囲む)

④⑤について自分の○を付けた事について具体的に書きなさい。

---

2. 今回の活動は、単発的な活動にならないように、そして、恒常的な活動につながるという「ねらい」がありました。それぞれの活動が、自分の生活に取り入れられるようになりましたか、その達成度は?

①取り入れられていない。 ②少し取り入れられた。 ③随分と取り入れられた。(丸で囲む)

④⑤について自分の○を付けた事について具体的に書きなさい。

---

3. 今回の課題の計画は適切であったか。

(いくら素晴らしいものでも、活動につながらない事もある。  
計画→実施→評価まできちんとできることも大切)

①適切でなかった。 ②まずまず適切であった。 ③適切な課題であった。

④⑤について自分の○を付けた事について具体的に書きなさい。(丸で囲む)

---

3年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_ 提出日 4月14日(金) 担当の先生へ

これまでの活動を見直し  
これからの見通しを持つ(班で考える)

(3年総合学習評価用紙)

1. グループ名(例: 防犯○○班)

---

2. お互話になった団体や電話連絡した場所(団体)

・団体 \_\_\_\_\_

・電話連絡をとった場所(団体) \_\_\_\_\_

---

3. 活動の進捗について聞きます。

① 活動も無事終了、総合学習のまとめを提出した。後は中間発表の準備だけ。  
② 活動をしたが、総合学習のまとめを提出していない。  
③ まだ連絡がうまく取れず、活動をしていない。  
④ まだ連絡も取っていない。

⑤に○を付けた者は、具体的にいつ活動ができそうか、見通しはあるのか。

---

⑥に○を付けた者は、具体的にいつ活動ができそうか、見通しはあるのか。

---

3. 活動した日時

・第1回目 \_\_\_\_月\_\_日( ) \_\_\_\_時\_\_分 ~ \_\_\_\_時\_\_分

・第2回目 \_\_\_\_月\_\_日( ) \_\_\_\_時\_\_分 ~ \_\_\_\_時\_\_分

4. 具体的な活動内容を書きなさい。

---

4月14日(金) 提出先 各教室の担当の先生へ

### 中間発表準備(班で書く)

平成18年4月14日(金)

1. 発表の準備

発表は、その成果を他の人に報告し、理解してもらって、活動の成果を役立てたり、意見を聞いて、活動をより深めたり、発展させるために必要なことです。

(1) 口頭発表

決められた短い時間内に要領よくまとめて話すことは、なれた人でも簡単なことではありません。しかし、発表は聞く人に十分に理解してもらわなければ意味がありません。ですから、可能な限り手を尽くして理解してもらえようように、努める必要があります。そのためには、十分な準備が必要になります。十分な準備があれば、自信を持って発表の場にのぞむことができます。効果的な発表は、以下の3つのことを準備しておきましょう。

①発表原稿の作成

A. 活動のねらい(動機や目的) B. 活動の内容 C. 活動の反省

②発表補助資料の作成

A. 発表内容の要点を示したもの(聞き手に配布する)

B. 映像や図表(OHP・Power Point・実物投影機・模造紙・Video Camera)

(聞き手に見せる資料)

③口頭発表の練習

A. 原稿を読み上げない。 B. 聞き手の顔を見て話す。 C. 時間配分に注意する

D. 発音と声の大きさに気をつける。

2. 具体的な発表方法を決定しよう。(4月28日(金)発表時間5分前後)

①発表のための機材はどんなものを使いますか。

(○を付ける。複数合っても構いません)

A. OHP B. Power Point C. 実物投影機 D. 模造紙 E. Video Camera

②発表準備分担(1つの項目を、二人で担当しても構いません)

A. 口頭発表原稿作成者 \_\_\_\_\_

B. 配布資料作成・印刷・配布者 \_\_\_\_\_

C. 掲示資料作成者 \_\_\_\_\_

D. 機器準備・操作担当者 \_\_\_\_\_

E. その他何でもかき \_\_\_\_\_

※発表後 先生・生徒からのコメントや質問する時間を取ります。説明できるよう準備しましょう

班名(例: 防犯○○班) \_\_\_\_\_

班長 \_\_\_\_\_

班員 \_\_\_\_\_

4月14日(金) 担当の先生へ提出

H18年度 3年生前期総合学習

6/22/2006  
寺本

○今後の見直し

1) 27日(火) 5限 実行委員の方から今後の総合についての再提案

①「住みよいまち作り」が本当に実現できているか、最後の集大成となる活動を目指す。

- ・プロジェクトが終了し、十分満足できる結果を得られた班→発表の充実
- ・プロジェクトが終了したが、十分満足できる結果を得られなかった班→活動の充実
- ・プロジェクトが終了していない班→活動の継続
- ・プロジェクトの計画だけで終わった班→再計画

②発表に向けて

- ・生徒祭で行う(担当の先生には内諾済み)。
- ・自分たちの活動結果を地域に発信するためのものである。
- ・お世話になった方々、地域の住民の方々、区役所、大学関係者、保護者、先生方等。
- ・アリーナでの展示の一環として行う。
- 時間を決めて、何グループか交代で行う。(吹奏楽や演劇の無い時間をうめる形で)プレゼンテーションできなかった班→機造紙展示、CDに入れてパワーポイントの画像を流しっぱなしにする等、必ず全員が参加する。

③6限未定

④発表に向けて用意すべき事

- ・アリーナにつく教員、生徒の配置
- ・お礼状+発表案内文の指導
- ・広報活動について

⑤新プロジェクト

生徒が以前やりたがっていた歩きタバコ禁止署名活動をどうするか。

以上

Q. 誰が発表するのか。

→希望する班が理想。「外に向かって成果を発表したい」と書いた班はぜひ！  
「まだプロジェクトが終わっていないので、完了するよう努力する」と書いた班もこれから頑張れば十分可能なので、積極的にアリーナ発表を考えてほしいです。

Q. 自主Gや生徒祭の係の仕事が忙しくて余裕がない

→例えばビデオ映像の上映をすることも可能です。これから一番良い方法を考えていきたいです。

Q. 発表できない(したくない)班は?

→3年生全体の取り組みなので、一部の人が努力するのではなく、全員が必ず機造紙展示等を行って、学習の成果を発表することとしたいと思います。

Q. 活動する時間はあるのか?

→総合学習としての時間は限られています。もし、地域の方々をよぶとするとお礼状+案内文書きの時間も必要です。継続すると選んだ班は、各班で話し合っ都合のよい日時を決めてください。後期からは別の総合学習が始まります。

○総合実行委員への提案

1. アリーナ発表の規模によっては、やる気のある実行委員で力を合わせなくてはならない。みんなの力があればイベントみたくにすることも可能だと思います。

2. 新プロジェクトの提案

以前、「計画」グループからタバコ投げ捨て禁止署名活動を学年全体のプロジェクトとしてやりたいたいという希望がありました。各班の活動も、だいたいの班が一回はやっているので、少しモチベーションが下がっている人も多いと思います。学年プロジェクトを立ち上げて総合を活性化するのもおもしろいかもしれません。

以上

H18年度 3年生前期総合学習

6/27/2006

**実行委員から今後の総合についての再提案**

Q. 「住みよいまち作り」の継続をなぜ提案するのか?

→中間発表のまとめ用紙では、「今後の活動方針をどのように考えていますか」という問いに対して次のように答えてくれました。

- 1) まだプロジェクトが終わっていないので、完了するよう努力する。  
→小泉班、成田班、前田班、伊藤班(環境美化)、根岸班、丸山班、小川班、谷班、小島班、村田班(4)も選択
- 2) 考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、もっと内容を深められるよう継続したい。  
→石川班、木原班、鈴木班、大原班、伊藤班(防犯)(3)、(4)も選択、葉班、林班、神引班、阿美班、権田班(3)も選択
- 3) 考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、方法を見直し、新しいプロジェクトを立ち上げたい。→山本班
- 4) 考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、地域がどう変わったか経過を観察し、評価をしたい。→大沢班、佐塚班
- 5) プロジェクトはほぼ完了したので、もっと外に向かって成果を発表したい。  
→金子班、本杉班、

1)、2)を選んだ班が半数以上を占めていることから、実行委員としては活動を継続すべきであると考えています。ただし、5)を選んだ班は活動よりも発表準備の準備をしてほしいと思います。これからは班によって進行状況が違ってきてもよいと思います。

Q. なぜ発表をするのか?

・自分たちの活動結果を地域に発信するためのものです。  
→「住みよいまち作り」を目指して始めた以上は、自分たちの活動が本当に地域のためになっているのか結果については責任をもつべき。

Q. 方法は?

・呼び寄せる方々  
地域の住民の方々、お世話になった方々、区役所、大学関係者、保護者、先生方等。  
・生徒祭のアリーナ展示の一環として行う。  
→時間を決めて、何グループか交代で行ってどうか(吹奏楽部や演劇部の講演が無い時間をうめる形で)。5~6組くらいならステージでもできるのでは。



K班	緑の募金活動	文京区役所 茗荷谷駅	募金活動を行う場所 募金活動に許可してもらえな かった。 掲示板に貼っても らう。	パワーポイントのみ	具体的な活動をあ まりしていないかっ たため、発表内容が 薄かった。	まだ、プロジ ェクトが終 わっていない ので、完了 するよう努 力する。	もっと具体的な内容を決め、計画 し継続する。また、連絡もきちん と取る。インターネット等を通じ て様々な人に活動内容を知って もらう。	得点率
	3	発表会での評価	活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に取り組む価値があるか。	得点率 67% 58% 63% 63% 54% 60% 62%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 平均	71% 71% 63% 63%	総合順位 25位	
N班	文京区役所屋上で花壇(草花)手入れ手伝い	なし	自然と自然が増え た。まじめにでき た。貴重な体験が できた。	模造紙が「美」だっ てもっとPCと使っ ても良かった。 ができた。	まだ、プロ ジェクトが 終わってい ないので、 完了するよ う努力する。	特になし	得点率	
	4	発表会での評価	活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に取り組む価値があるか。	得点率 88% 83% 81% 79% 79% 75% 87%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 平均	73% 75% 73% 79%	総合順位 20位	
M班	タンポポの生息状況調査	お茶大キャンパス	大塚公園 大塚公園 わがやがやが を作ったところ を 作ったところ を	春日通り 練習不足だったと ころ。	まだ、プロ ジェクトが 終わってい ないので、 完了するよ う努力する。	写真を活用する。 ・マップを区役所に提出する。 ・過去のデータと比較し、その結果から自然保護のために何が できるか考える。	得点率	
5	発表会での評価	活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に取り組む価値があるか。	得点率 88% 83% 81% 79% 79% 75% 87%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 平均	73% 75% 73% 79%	総合順位 20位		

発表会での評価	活動内容に関する評価項目	得点率	発表内容に関する評価項目	得点率
I 班 6	<p>映画館の清掃活動 早稲田松竹(*)</p> <p>映画館のようない僕 たちが普段よく利 用し迷惑をかけて いそうな施設で清 掃活動などのその 映画館が受けてい た迷惑を解消する ような活動をし、 僕たちが普段どれ くらい迷惑をかけ ているかを実感し ようとしたところ。</p>	<p>79%</p> <p>68%</p> <p>87%</p> <p>86%</p> <p>83%</p> <p>68%</p> <p>78%</p>	<p>①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。</p> <p>②自分たちの意見をきちんと述べているか。</p> <p>③納得させるための工夫のある発表ができていますか。</p> <p>平均</p> <p>他のグループからのコメント</p> <p>・タンポポの生育調査が自然保護にどう係わるのか。・発表の時にたくさんの地図があったのでわかりやすかった。またどのような地域に貢献しているか分からなかった。</p>	<p>88%</p> <p>90%</p> <p>83%</p> <p>81%</p> <p>総合順位</p> <p>17位</p>
	環境美化	<p>僕がどのような目的 でどのような活動を説 明した。</p> <p>もっと活動をして パワーポイントなど でわかりやすく説 明したかった。</p>	<p>まだ、プロ ジェクトが 終わってい ないので、 完了するよ う努力する。</p>	<p>アポを取る。</p>
発表会での評価	<p>活動内容に関する評価項目</p> <p>①テーマに沿った活動ができているか。</p> <p>②成果は地域に貢献しているか。</p> <p>③実行する上で現実的に妥当であったか。</p> <p>④効果的な方法であったか。</p> <p>⑤計画の立て方は適切であったか。</p> <p>⑥地域の住民に役立つものになりうるか。</p> <p>⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>62%</p> <p>51%</p> <p>55%</p> <p>58%</p> <p>49%</p> <p>58%</p> <p>58%</p>	<p>発表内容に関する評価項目</p> <p>①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。</p> <p>②自分たちの意見をきちんと述べているか。</p> <p>③納得させるための工夫のある発表ができていますか。</p> <p>平均</p> <p>他のグループからのコメント</p> <p>ちやんと活動する。みんなで協力する。めんどくさい壁を乗り越える。計画は良かったが、実行できなかった。1人1人の責任感が少ないと思う。アポはしっかり取る。やりたかったことはできなかったが、掃除をしたのは偉いと思う。</p>	<p>42%</p> <p>59%</p> <p>47%</p> <p>54%</p> <p>総合順位</p> <p>27位</p>

K班 7	池袋ゴミ拾い 歩きタバコ禁止への呼びかけ 実際に活動した。(自分たちも参加した。)いろいろな人が見てくれた。歩きたばこしていた人がやめてくれた。	もう少しやりたかった。	発表内容をもっとまとめたか。	まだ活動できたらいいと思います。人に話を聞いたりしたいです。
	発表内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。	得点率 92% 90% 88% 83% 87% 82% 91%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができているか。 平均	得点率 88% 87% 83% 87%
K班 8	若荷谷駅ゴミ拾い その周りを約1時間、徹底的に清掃した。ゴミの種類・数を調べたことで、みんながどのような物を多く捨てているかがわかった。	豊島区役所エコライフ課 最初にちやんと、詳しい計画を立てなかったことで、全員がそろってポスターを作ることができなかった。	直前になって発表の準備をし始めてしまった。	もう1回1時間清掃活動を行い。2日あわせた種類別のゴミの数と合計したゴミの数を2で割り1日あたりの平均を出す。そしてポスターを作り、若荷谷駅とその周辺にはる。
	若荷谷駅ゴミ拾い その周りを約1時間、徹底的に清掃した。ゴミの種類・数を調べたことで、みんながどのような物を多く捨てているかがわかった。	豊島区役所エコライフ課 最初にちやんと、詳しい計画を立てなかったことで、全員がそろってポスターを作ることができなかった。	他のグループからのコメント 池袋での調査は良かった。とてもやりがいのある活動であったので、これからもガンバってほしい。混雑している中で30分間呼びかけたことにはすごい。声がはきはきしていて聞いて聞きやすかった。呼びかけたことで効果があつたというのすごい。	考えたい プロジェクトはほぼ完了したが、内容が深められたい。

発表会での評価	活動内容に関する評価項目	得点率	発表内容に関する評価項目	得点率	発表内容に関する評価項目	得点率
S班 9	活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。	96% 96% 83% 84% 72% 92% 84%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント 1時間で活動しなかったのはテーマに沿った活動だと思ふ。継続的にできればよい。	79% 80% 70% 84% 総合順位 13位	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント パワーポイントを使ってわかりやすかったです。	79% 80% 70% 84% 総合順位 13位
	播磨坂清掃活動 地域の人とふれあえた。 活動しすぎて、まとめる時間がなかった。	パワーポイントを使ってわかりやすかったです。	考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、内容を深められよう継続したい。	インターネットを使って発信する。 写真を使う。 聞いている側ができることを発表する。		
発表会での評価	活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。	95% 93% 93% 86% 90% 90% 93%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント ゴミ拾いは日々の積み重ねが大切だと思ふ。一回だけでも意義はある。ゴミ拾いというのとはとても大切な活動だと思います。たばこのポイ捨て問題など様々な問題がありますが、意欲的に取り組んで偉いと思いました。	89% 88% 75% 89% 総合順位 5位	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント ゴミ拾いは日々の積み重ねが大切だと思ふ。一回だけでも意義はある。ゴミ拾いというのとはとても大切な活動だと思います。たばこのポイ捨て問題など様々な問題がありますが、意欲的に取り組んで偉いと思いました。	
	大学キャンパスの清掃 大学キャンパスをきれいにした。 ポスターなどの色々な案が出た。	パワーポイント使った。 計画通りいかなかった。 ポスター制作ができなかった。 行動範囲が狭かった。	まだ、プロジェクトが終わっていないので、売りますよ努力する。	最初に計画を立て、それを実行できるように努力する。 メンバー同士でよく話し合う。		
N班 10						



発表会での評価	活動内容に関する評価項目	得点率	発表内容に関する評価項目	得点率
	<p>①テーマに沿った活動ができているか。</p> <p>②成果は地域に貢献しているか。</p> <p>③実行する上で現実的に妥当であったか。</p> <p>④効果的な方法であったか。</p> <p>⑤計画の立て方は適切であったか。</p> <p>⑥地域の住民に役立つものになりうるか。</p> <p>⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>71%</p> <p>51%</p> <p>74%</p> <p>64%</p> <p>58%</p> <p>54%</p> <p>78%</p>	<p>①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。</p> <p>②自分たちの意見をきちんと述べているか。</p> <p>③納得させるための工夫のある発表ができていますか。</p> <p>平均</p>	<p>58%</p> <p>68%</p> <p>64%</p> <p>64%</p> <p>総合順位</p> <p>24位</p>
M班	<p>護国寺駅周辺の清掃と放置自転車並べ（*）</p> <p>文京区役所のHPから、どこらへんがごみが多いかなどの、事前調べをたくさんやりました。</p>	<p>ポスターなどを作り、許可を得て、貼って、「ごみをへらそう・・・・」ということをして、自分たちでもごみ拾いや自転車の整備などをしていきます。</p>	<p>まだ、プロジェクターが終わっていないので、完了するよう努力する。</p> <p>特になし。</p> <p>まず、地域の人たちがどのくらい町のごみ拾いについて知っているか聞いてみた。地域の人の話を聞くのが、自分たちのテーマを深めることだと思えます。また、茗荷谷駅や護国寺駅等で、自分たちの成果や提案をビラとして配りたいと思います。それから、インターネットで配信したいです。</p>	<p>総合順位</p> <p>26位</p>
11				
発表会での評価	<p>活動内容に関する評価項目</p> <p>①テーマに沿った活動ができているか。</p> <p>②成果は地域に貢献しているか。</p> <p>③実行する上で現実的に妥当であったか。</p> <p>④効果的な方法であったか。</p> <p>⑤計画の立て方は適切であったか。</p> <p>⑥地域の住民に役立つものになりうるか。</p> <p>⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>56%</p> <p>49%</p> <p>63%</p> <p>57%</p> <p>46%</p> <p>63%</p> <p>72%</p>	<p>①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。</p> <p>②自分たちの意見をきちんと述べているか。</p> <p>③納得させるための工夫のある発表ができていますか。</p> <p>平均</p>	<p>60%</p> <p>64%</p> <p>53%</p> <p>58%</p> <p>総合順位</p> <p>26位</p>
災害防災				

<p>〇班 12</p>	<p>大地震に備えた災害マップ作り 実際に駅周辺を歩いてみたところ、そして、みんなが注意深く探索したおかげで、いろいろな発見ができたところ。</p>	<p>下調べをしないか 分かったこと がなかったか もしいかな が。通る道が 適当だった か。そのため に回った道 がある。</p>	<p>写真を十二分に活用 した。危険な場所 のリンクを しつかり とした。 発言はみんな で、台本が 立派だった。 パワーポイント。</p>	<p>パワーポイントが 壊れた。全員で やっていた。 壊れていなかった。</p>	<p>考えていた プロジェクトは ほぼ完了したが、 もっと内容を 深められる よう継続 したい。</p>	<p>老人ホームや小学校などに、作った地図を持ち込んでいきたい。</p>
<p>発表会での評価</p>	<p>活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>得点率 91% 88% 93% 88% 83% 89% 79%</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができていないか。 平均</p>	<p>得点率 86% 85% 85% 87%</p>	<p>総合順位 9位</p>	
<p>M班 13</p>	<p>避難生活をより快適に過ごすために、災害時の公的な対応を調べる。 お茶大 区立第七中学 文京区役所 区内町内会 分擔がある程度うまくいった。 わかりやすく簡潔にまとめられた。</p>	<p>なし。</p>	<p>原稿ができていなかった。</p>	<p>プロジェクトはほぼ完了したもので、もつと外にむかって成果を発表したい。</p>	<p>すでに回覧板で回していただきます。もっと大きな場で行う場合は、このまま、原稿をしつかりさせる。</p>	



O班 15	<p>若荷谷周辺の防犯マップを作る 事前に計画を立て、パワーポイントや写真で。しっかり行動できた。班員同士だ、お互いに協力して活動できた。練り歩いたこと。</p>	<p>発表することや話す人がしっかりと決まっていたこと。</p>	<p>外へ出て、活動するとき少し遊んでしまった。</p>	<p>また、プロジェクタが終わっていないので、完了するよう努力する。</p>	<p>もっと、考察→実際に活動でき、地域に貢献したいです。→自分達で深め、地域にアピールするにはどうしたらよいかを考える。</p>
発表会での評価	<p>活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫ができてきているか。</p>	<p>得点率 89% 77% 85% 74% 80% 85% 70%</p>	<p>得点率 89% 83% 85% 82%</p> <p>総合順位 16位</p>	
T班 16	<p>大塚駅周辺の防犯マップを作る みんな協力を分擔し作業 当たり前だけど嫌々ながら頑張った。発表以外は計画的であった。</p>	<p>準備をしっかりとしない。言葉を考えない。原稿を書いていない。</p>	<p>また、プロジェクタが終わっていないので、完了するよう努力する</p>	<p>もっと範囲を広くする。</p>	
発表会での評価	<p>活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。</p>	<p>得点率 83% 71% 83% 77% 75% 77% 72%</p>	<p>得点率 64% 72% 60% 73%</p> <p>総合順位 23位</p>	

K班 17	学校から教育の森・茗荷谷駅周辺の防犯マップを作る	防犯マップなどを工夫して作った。実際に危ない場所に行きその危なさを調べた。	チームワークがあまり良くなかった。状況が分かっている人がいた。	模造紙を作っている人にわかりやすいように工夫した。大きな声で発表した。資料を見せた。	発表がはつきりしなかった。模造紙の前に立ってしまっていた。	まだ、プロジェクトが終わっていないので、完了するよう努力する。	まず、プロジェクトを終わらせる。幼稚園に防犯マップを配り、対象の人（お茶幼・お茶小1年～3年）が防犯に対する意識が良くなっただかどうかアンケートのようになんか感じて調査する。	得点率	66% 69% 60% 75%	総合順位	22位
	発表会での評価	活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。	得点率 91% 77% 80% 75% 71% 84% 77%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動してきているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント 発表方法をもっとわかりやすくできたら良かった。幼稚園生や小学生に見せても分かるマップを作れば良かった。もっとしっかり準備してから発表しよう。幼児へのビラはよいと思う。必ず親に見せるから。	得点率 91% 77% 80% 75% 71% 84% 77%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動してきているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント 護身術は使えそうだが襲われたときはパニック状態におちいってあまり余裕はないと思う。警察で教えてもらった護身術の講習会を開くと良いかもしれない。実演したのが良かった。自分たちが使うだけでなく、小学校や児童館などで行って実演してみると地域にとっても役立つ活動になると思う。	得点率 85% 82% 87% 80%	総合順位	19位		
M班 18	大塚警察で護身術を習得	大塚警察署に行き、大塚警察署で護身術を習った。自分達で習得した。	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得	大塚警察署で護身術を習得
	発表会での評価	活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。	得点率 80% 65% 85% 90% 82% 82% 65%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動してきているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント 護身術は使えそうだが襲われたときはパニック状態におちいってあまり余裕はないと思う。警察で教えてもらった護身術の講習会を開くと良いかもしれない。実演したのが良かった。自分たちが使うだけでなく、小学校や児童館などで行って実演してみると地域にとっても役立つ活動になると思う。	得点率 80% 65% 85% 90% 82% 82% 65%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動してきているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 他のグループからのコメント 護身術は使えそうだが襲われたときはパニック状態におちいってあまり余裕はないと思う。警察で教えてもらった護身術の講習会を開くと良いかもしれない。実演したのが良かった。自分たちが使うだけでなく、小学校や児童館などで行って実演してみると地域にとっても役立つ活動になると思う。	得点率 85% 82% 87% 80%	総合順位	19位		

M班 19	防犯について 警察署に行ってインタビューをした。いろいろインタビューネット上で調べられないことを教わった。	ポスターが作れなかった。計画通りいなかった。→ポスターを作り他の学校に貼れなかった	たぐさんのことが発表できた。資料を何個も見せてわかった。すかった。	あまり時間がなかったのでみんなであわせることが難しくなっていた。字ばかりだった。	これからHPをつくり、たくさんの人に公開していきたいと思っます。特に中学生を中心に、みてもらいたいので、学校に訪問し、作ったポスターを貼らせていただきます。	まだ、プロジェクターが壊れていて終わらないので、完了するよう努力する。地域がどうかわつたか観察したか評価したい。	得点率 91% 83% 76% 83%
	発表会での評価	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができていないか。 他のグループからのコメント 警察署の人から貴重なお話を伺えてとても良い経験になったと思う。難しいけど、自分たちでも何かできるようにすればよいと思う。とても身近に起こりやすい事件の対策を考えられていい内容だった。こんな犯罪が起きているなんて驚いた。私もよく池袋に行くので気がつくだけだと思う。3人が協力しているところが良かっか。警察に行くと良かっか。	得点率 85% 76% 87% 84% 89% 80% 77%	発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができていないか。	平均	総合順位 14位	
Y班 20	子供の関わる犯罪について調査 大塚警察署	なし。	パワーポイントで分りやすくまとめた。4人で分担しながら発表できた。全員で活動した感想をしっかりと述べることをできた。	事実を考えしつかり区別することができなかった。	考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、もっと内容を深められるよう継続したい。	今までの活動やそのまともな理解を深めた。	



発表会での評価	活動内容に関するの評価項目	得点率	発表内容に関するの評価項目	得点率
H班 23	<p>①テーマに沿った活動ができているか。</p> <p>②成果は地域に貢献しているか。</p> <p>③実行する上で現実的に妥当であったか。</p> <p>④効果的な方法であったか。</p> <p>⑤計画の立て方は適切であったか。</p> <p>⑥地域の住民に役立つものになりうるか。</p> <p>⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>95%</p> <p>92%</p> <p>91%</p> <p>93%</p> <p>84%</p> <p>90%</p> <p>86%</p>	<p>発表内容に関するの評価項目</p> <p>①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。</p> <p>②自分たちの意見をきちんと述べているか。</p> <p>③納得させるための工夫のある発表ができていますか。</p> <p>平均</p> <p>他のグループからのコメント</p> <p>紙芝居を使い分かりやすく説明していた。幼児に分かりやすい紙芝居にしたのが良かった。幼稚園に行ったことが良かった。他の幼稚園に行つて是非実施して欲しい。O×ゲームを取り入れ、ちゃんと聞いてくれるように工夫してあった。</p>	<p>94%</p> <p>87%</p> <p>89%</p> <p>90%</p> <p>総合順位</p> <p>4位</p>
	<p>歩行喫煙禁止「ポイ捨てをなくそう」教育の森でティッシュ配り 文京区役所（資源環境課・緑公園課）</p> <p>実際に配ったものを受け取って、聞いたり、聞いてくれた人もいた。ティッシュ配りは単純であり、きたりっばいけど、一番身近に迫ってできるから良かった。</p>	<p>実物を持ってきた。絵を描いてまとめた。</p> <p>活動している写真とか撮ったりして持ってきてくれた良かった。</p>	<p>考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、もっと内容を深められるよう継続したい。</p>	<p>これから、ごみ拾いをして、ごみ拾い場所を見つけ、そこにポスターを貼ったり、ゴミ箱をおいたりしようと思つている。そして、その場所に関わりに行き効果があつたか宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井と思います。ビデオで撮つた映像なども入れて発表したいです。</p>
発表会での評価	<p>活動内容に関するの評価項目</p> <p>①テーマに沿った活動ができているか。</p> <p>②成果は地域に貢献しているか。</p> <p>③実行する上で現実的に妥当であったか。</p> <p>④効果的な方法であったか。</p> <p>⑤計画の立て方は適切であったか。</p> <p>⑥地域の住民に役立つものになりうるか。</p> <p>⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>89%</p> <p>83%</p> <p>77%</p> <p>84%</p> <p>83%</p> <p>83%</p> <p>80%</p>	<p>発表内容に関するの評価項目</p> <p>①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。</p> <p>②自分たちの意見をきちんと述べているか。</p> <p>③納得させるための工夫のある発表ができていますか。</p> <p>平均</p> <p>他のグループからのコメント</p> <p>うまくまとつていた。ティッシュ配りは効果的だと思う。具体的な活動を自分たちで計画し実行できていていいと思った。計画がしっかりしていて効果が期待できる活動を考えて行つていた。模造紙がとても見やすくできていた。</p>	<p>91%</p> <p>81%</p> <p>74%</p> <p>82%</p> <p>総合順位</p> <p>15位</p>



W班 24	<p>ゴミ問題の現状を知る 文京区清掃事務所 実際に文京清掃事務所に同行したところ。ポスターの作成。テーマに沿って地域の人人々に貢献できるものだった。</p>	<p>パワーポイントで表やイラストを入れて分かりやすかった。班員がそれぞれ協力できた。</p>	<p>地図を用意しなかったところ。創造性が不足。時間が少なく、リハーサルができた。</p>	<p>考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、もっと内容を深められるよう継続したい。</p>	<p>伺った話を元に。ポスターを作成したので、それを文京区内のスペースやコンビニに掲示してもらえらるようになりたい。そして、少しでも地域の人人々に役立ててほしいなと思っます。また、プリントや作成したポスターとともにお礼状を清掃事務所に送りたい。モノ配慮友の会に連絡を取って送られてきたモノ友通信について話を伺いたい。</p>
発表会での評価	<p>活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>得点率 92% 81% 82% 90% 83% 83% 93%</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動してきているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 平均</p>	<p>得点率 85% 82% 85% 86%</p>	<p>総合順位 10位</p>
A班 25	<p>放置自転車撤去活動手伝い 豊島区役所 実際に撤去してみたら。色々な方にお話を聞きました。事前にちゃんと調べた。</p>	<p>模造紙を作った。 少しわかりにくかった。発表原稿がなかった。「その場」っていう感じだった。</p>	<p>考えていたプロジェクトはほぼ完了したが、もっと内容を深められるよう継続したい。</p>	<p>もつと町の人々に分かるような呼びかけや活動をする。</p>	<p>得点率 90% 83% 70% 88%</p>
発表会での評価	<p>活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>得点率 100% 98% 91% 84% 79% 99% 89%</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動してきているか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができてきているか。 平均</p>	<p>総合順位 6位</p>	<p>共生</p>

<p>S班 26</p>	<p>障害者への偏見をなくす 障害者を持つ仲間が働ける社会を目指して 実際にダウン症の方の家にいきインタビューをしてみよう。お話を伺った方ができたら、共同でポスターを作成することを目指す。</p>	<p>私たちが住んでいる町で、住みよかったです。理解してもらいにくかった。(私たちは障害者の視線で住みよいた町を指しているから)</p>	<p>プロジェクトはほぼ完了しましたが、内容も深く掘り下げるよう継続したい。新しい方法を発見し、新しいプロジェクトを立ち上げたい。</p>	<p>ミニ講義会</p>
<p>発表会での評価</p>	<p>活動内容に関する評価項目 ①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができていないか。 平均</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができていないか。 平均</p>	<p>得点率 87% 91% 88% 84% 総合順位 12位</p>
<p>S班 27</p>	<p>精神障害者復帰施設の活動支援 全国精神障害者家族連合会 実際の施設に行き、見学できたと。</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①発表が難しすぎた。質問がうまく答えられなかった。</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①発表が難しすぎた。質問がうまく答えられなかった。</p>	<p>発表内容に関する評価項目 ①発表が難しすぎた。質問がうまく答えられなかった。</p>

発表会での評価	活動内容に関する評価項目	得点率	発表内容に関する評価項目	得点率
	①テーマに沿った活動ができているか。 ②成果は地域に貢献しているか。 ③実行する上で現実的に妥当であったか。 ④効果的な方法であったか。 ⑤計画の立て方は適切であったか。 ⑥地域の住民に役立つものになりうるか。 ⑦活動は継続的に行う価値があるか。	85% 75% 84% 83% 76% 78% 79%	①各自が責任を持ち、協力して活動しているように感じ取れたか。 ②自分たちの意見をきちんと述べているか。 ③納得させるための工夫のある発表ができているか。 平均 他のグループからのコメント 障害者への偏見は、僕らにとってはあつてはならないことだ。他のグループとは違う視点から調べていてテーマをよくとらえていると思いましたが、難しい。z i pはよく分かったけれど地域住民への貢献という点については困難なところが伺われた。	91% 85% 72% 81% 総合順位 18位

### 展 開 Ⅲ 中間発表以降の活動

中間発表を終え、それぞれのグループへの評価もまとめ、その結果を生徒に提示した。これを踏まえ、これからの活動について実行委員と話し合いを持った。そのときの要旨は以下の通りである。

#### 1. 18年度3年生前期総合学習今後の見通し(教員向け文書)

(1) 6月27日(火)5限 実行委員の方から今後の総合についての再提案をする。

① 「住みよいまち作り」が本当に実現できているか、最後の集大成となる活動を目指す。

- ・プロジェクトが終了し、十分満足できる結果を得られた班 → 発表の充実
- ・プロジェクトが終了したが、十分満足できる結果を得られなかった班 → 活動の充実
- ・プロジェクトが終了していない班 → 活動の継続
- ・プロジェクトの計画だけで終わった班 → 再計画

② 発表に向けて

- ・生徒祭で行う。
- ・自分たちの活動結果を地域に発信するためのものである。  
お世話になった方々、地域の住民の方々、区役所、大学関係者、保護者、先生方等。
- ・アリーナでの展示の一環として行う。  
→時間を決めて、何グループか交代で行う。(吹奏楽や演劇の無い時間をうめる形で)  
プレゼンテーションできなかった班 → 模造紙展示、CDに入れてパワーポイントの画像を流しっぱなしにする等、必ず全員が参加する。

(2) 発表に向けて用意すべき事

- ・アリーナにつく教員、生徒の配置を考える。
- ・お礼状+発表案内文の指導を進める。
- ・広報活動について再考。

(3) 新プロジェクト

生徒が以前やりたがっていた歩きタバコ禁止署名活動をどうするか。

#### 2. H18年度3年生前期総合学習 6/27/2006

実行委員から今後の総合についての再提案

Q. 「住みよいまち作り」の継続をなぜ提案するのか?

→中間発表のまとめ用紙では、「今後の活動方針をどのように考えていますか」という問いに対して次のように答えてくれました。

(1) まだプロジェクトが終わっていないので、完了するよう努力する。

→小泉班, 成田班, 前田班, 伊藤班 (環境美化), 根岸班, 丸山班, 小川班, 谷班, 小島班, 村田班 (4) も選択)

(2) 考えていたプロジェクトはほぼ完了したが, もっと内容を深められるよう継続したい。

→石川班, 木原班, 鈴木班, 大原班, 伊藤班 (防犯) (3), 4) も選択), 丸岡班, 山下班, 葉班, 林班, 綿引班, 阿実班, 椎田班 (3) も選択)

(3) 考えていたプロジェクトはほぼ完了したが, 方法を見直し, 新しいプロジェクトを立ち上げたい。→山本班

(4) 考えていたプロジェクトはほぼ完了したが, 地域がどう変わったか経過を観察し, 評価をしたい。→大沢班, 佐塚班

(5) プロジェクトはほぼ完了したので, もっと外に向かって成果を発表したい。

→金子班, 本杉班,

(1), (2)を選んだ班が半数以上を占めていることから, 実行委員としては活動を継続すべきであると考えています。ただし, (5)を選んだ班は活動よりも発表重視の準備をしてほしいと思います。これからは班によって進行状況がちがってきてもよいと思います。

Q. なぜ発表をするのか?

・自分たちの活動結果を地域に発信するためのものです。

→「住みよい町づくり」を目指して始めた以上は, 自分たちの活動が本当に地域のためになっているのか結果については責任をもつべき。

Q. 方法は?

・お呼びする方々

地域の住民の方々, お世話になった方々, 区役所, 大学関係者, 保護者, 先生方等。

・生徒祭のアリーナ展示の一環として行う。

→時間を決めて, 何グループか交代で行ってはどうか (吹奏楽部や演劇部の講演が無い時間をうめる形で)。5~6班くらいならステージでもできるのでは。

Q. 誰が発表するのか。

→希望する班が理想。「外に向かって成果を発表したい」と書いた班はぜひ!

「まだプロジェクトが終わっていないので, 完了するよう努力する」と書いた班もこれから頑張れば十分可能なので, 積極的にアリーナ発表を考えてほしいです。

Q. 自主Gや生徒祭の係の仕事が忙しくて余裕がない

→例えばビデオ映像の上映をすることも可能です。これから一番良い方法を考えていきたいです。

Q. 発表できない (したくない) 班は?

→3年生全体の取り組みなので, 一部の人だけが努力するのではなく, 全員が必ず模造紙展示等を行って, 学習の成果を発表することとしたいと思います。

Q. 活動する時間はあるのか?

→総合学習としての時間は限られています。もし、地域の方々をよぶとするとお礼状+案内文書きの時間も必要です。継続すると選んだ班は、各班で話し合っただけのよい日時を決めてください。後期からは別の総合学習が始まります。

#### ○総合実行委員への提案

1. アリーナ発表の規模によっては、やる気のある実行委員で力を合わせなくてはならない。みんなの力があればイベントみたいにすることも可能だと思います。

#### 2. 新プロジェクトの提案

以前、「計画」グループからタバコポイ捨て禁止署名活動を学年全体のプロジェクトとしてやりたいという希望がありました。各班の活動も、だいたいの班が一回はやっているので、少しモチベーションが下がっている人も多いと思います。学年プロジェクトを立ち上げて総合を活性化するのもおもしろいかもしれません。

## 展開Ⅳ まとめ

今まで、生徒の諸活動について、特に1年生2年生の時には、教員側の綿密な打合せの元に進めてきたが、3年生になり、生徒実行委員の中で十分な話し合いの結果、全学年の生徒に原案を提示することができるようになった。自分たちがどのような準備をすればみんなに理解してもらえるか前もって予測ができるようになったということが大きな収穫であろう。各グループ毎の色々な活動においても、意識は随分高まったと思われる。

年度当初の狙いを以下の通りである。

#### ねらい

- 1, 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
- 2, 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に、主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること。
- 3, 各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること。

まだ活動は続いている。日常の生活の中に取り込むことが課題でもあるので、今後生徒自身が学習や生活において総合的な学習で学んだ事を活かし生活することを望む。